

No.51  
2013年5月1日

いい旅

Peace  
Green  
Humanity

いい仲間

発行所：(株)富士国際旅行社  
編集者：「いい旅いい仲間」編集委員会  
〒160-0022 東京都新宿区  
新宿2丁目11-7 第33宮庭ビル4階  
☎ 03-3357-3377 FAX 03-3357-3317  
E-mail：henshu@fits-tyo.com  
URL：www.fits-tyo.com  
印刷：(株)光陽メディア 発行部数：26,000部

# 「戦争大国」アメリカと動きはじめた市民

～フォトジャーナリスト・中村梧郎氏 インタビュー～

ベトナム、フィリピン、沖縄ツアーを担当する中で、アメリカについてもっと知りたいと思いました。イラク戦争開始から10年を迎える3月、ベトナム戦争当時からアメリカと戦争について取材を続けている中村梧郎さんにインタビューしました。

聞き手：遠藤 茜・西須 輝理 (営業部)  
写真提供：中村梧郎氏



Q. ベトナム戦争、湾岸戦争、イラク戦争など、アメリカは頻りに戦争をしているイメージがありますが？

アメリカの経済構造は「戦争をしないと持たない」といわれています。＝軍産複合体が政治をコントロールしています。軍を世界のあちこちに送り込み、侵略戦争で兵器をどんどん消耗して軍事産業が潤います。平時にも兵器を各国に売り込むことでアメリカ経済が息を吹き返すわけ



9.11跡地 (グラウンド・ゼロ)

です。イラクへの侵略も9.11の3年も前から準備され、大量破壊兵器を持っているから叩き潰せという嘘のキャンペーンが張られていたんですね。9.11をチャンスとして侵略の口実に使ったわけです。

Q. 軍産複合体 (コンプレックス) の構造に気づいているアメリカ国民はいるのでしょうか？

気づいている人はもちろんいますけれども、アメリカの戦争は正義の戦争であるというプロパガンダが常に伴いますから、「やっつけちゃえ！」と思いつむ人が大半となりますね。ベトナム戦争は「侵略戦争であった」とはっきり言うのは、言語学者のノーム・チョムスキーくらいでしょうか。

ベトナムでは敗退したのに、レーガンが登場して「もっとうまくやれば勝つのだ」という論理のすり替えをやって反省もしていない。アメリカではベトナム戦争当時の徴兵制度が政治不信を広げてしまった。反戦運動も広がったために徴兵制をやめました。それでどうするか。貧困ゆえに軍に入るしか生きてゆけないという若年層を造れば良いわけです。若者の失業率が高く賃金も安い中で、軍に入れば大学まで通える金がたまると、という甘言で誘う、高等学校へ軍部の人間が行って人材募集してよいという法案も通りました。

そのシステムが日本にも入ってきています。労働者派遣法が導入され、低賃金で無保障の労働状況が作られています。現在日本の労働者の3割5分の人が派遣です。そこにちょっといい待遇にした自衛隊員募集をすれば人が

必ず集まります。アメリカはそうやって、徴兵をしなくてもいくらでも軍への応募者がいるという状況をつくりだしました。日本は派遣法をなくし、採用する労働者は必ず正社員とするという風にしなないといけません。

Q. 2009年にカリフォルニア大学・美術館で開かれた「枯葉剤シンポジウム」の中で講演されましたが、その時のアメリカの人々の印象はどうでしたか？

シンポジウムでは基調報告を行いました。枯葉剤問題取材しようと思ったきっかけには広島・長崎での原爆被爆問題があったことを伝えました。また、オバマ大統領がプラハでの演説で「核兵器を最初に使った国としての責任」に言及したことを評価しながら、アメリカでは報道されていないであろうベトナムでの被害について話しました。「オバマという、アメリカ史でかつてない大統領を迎えた時でもあるのだから、これを基礎に枯葉剤も核も、何よりも戦争のない時代をつくりたいものだ」と言うと、スタンディングオベーションで応じてくれました。

ニューヨークで写真展を開催した時も、ベトナム帰還アメリカ兵がガンで苦しんでいることは知っているけれど、ベトナムの人々が枯葉剤被害にさいなまれているとは全く知らなかったという人が大勢いましたね。

(2面へつづく)



自由の女神。米独立100周年記念にフランス民衆のカンパで贈られたもの

「本物」が持つ  
旅のちから  
2013

≫CONTENTS

中村梧郎氏インタビュー	
アメリカ特集	1・2
実際の米国の姿	2
旅のがっこう	3
50号記念特別企画・最優秀エピソード発表	3
BOOK GUIDE	3
今こそ！ヨーロッパに学ぶ	4・5
イタリア料理	5
復興はいまだ～福島・相馬地方～	6
ブラジル通信	6

  

お知らせ	
不屈館オープン、ベトナムイベント情報、	
宮森630会から支援のお願い	7
スタッフ募集・編集後記	7
スイス、ネパール特集	8
スイス旅便り	8
別刷 旅行特集	
ヨーロッパ・北欧・アジア・ベトナム・中国・	
ウォーキング・花と自然・この指とまれ！など	

ホームページを  
リニューアルしました！

より見やすく、旅のお役立ち情報も満載です。ぜひご覧ください。  
http://www.fits-tyo.com.

燃油サーチャージの取り扱いについて

世界的な燃油高騰のため、航空会社が燃油サーチャージの徴収を継続しています。サーチャージの金額は航空会社によって異なり、2～3ヶ月に一度変更されております。このため、旅行費用とは別に、空港使用料などと共に燃油サーチャージをご請求させていただきます。詳細はお申し込み後の手続案内書面でご確認ください。

海外旅行保険は  
当社ホームページでご加入を！

\*当社ホームページで、お得な新・海外旅行保険【off! (オフ)】にご加入いただけるようになりました。(引受会社：損保ジャパン)  
★出発当日でもスピード加入 ★海外に出かける前に忘れずに、旅行の際にはぜひともご利用ください。

当社の会議室をご利用いただけます

\*ご予約いただければ、当社で夜間や土曜日の旅行相談も可能です。\*会議室を、旅行打ち合わせや説明会会場としてご利用いただけます。\*ビデオ、DVD、プロジェクターなどをご利用いただくこともできます。\*定員は約25名様です。詳しくは気軽にお問い合わせ下さい。

これは、メディアが報道しないからです。加害行為については口をつぐんでしまう。日本も南京大虐殺、慰安婦問題など、同じように加害の事実を消そうとしていますね。それが加害国側の特徴です。

**Q. 多くのアメリカ人のベトナム帰還兵を取材し、記録に残してこられた中村先生ですが、アメリカで生活する帰還兵やその家族は、取材当時と比べてどう変わって来ていますか？**

1983年に最初にアメリカに行った時に会った、ベトナム帰還兵の娘が腕の欠損という先天障害を持つジェニーちゃんでした。その後も何度か会って成長を見守ってきましたが、2007年にニューヨークでマグナム写真展を開催した時に彼女の写真を飾ったら、ジェニーちゃんと母親、ボーイフレンドと3人で来てくれました。2004年にPTSD(心的外傷後ストレス障害)で自殺していた父親の話をするのかと思いきや、ジェニーに赤ちゃんが



ジェニー・ロニーさん(幼少期)

できたという話でした。父親は「5世代に渡る先天障害を覚悟する必要がある」と生前に言っていたので、産むべきか迷っているとのことでした。「たとえあなたと同じように腕のない子が生まれたとしても育てられるでしょう? 思い切って産みなさい」とアドバイスしたら、半年後に「無事に元気な赤ちゃんが産まれた、ありがとう」とメールがきました。

映画『沈黙の春を生きて』に出た左脚欠損のヘザーパウザーさんは、ジェニーさんの写真をベトナムで観て、自分とほとんど同い年のアメリカの子(ジェニー)がいたのかと彼女の連絡先を聞いてきました。その後2人は連絡を取り合って「アメリカ政府と交渉するためのNPOを作ろう」と動き始めました。昨年4月に7名くらいで結成すると連絡があったので私も駆けつけました。アメリカ人の帰還兵は80年代から補償要求闘争をやっていましたが、その子どもたちにはこれまで何もしてこなかったのです。帰還兵の子どもが皮膚がんで苦しんでいるケースもあります。その娘(帰還兵の孫にあたる)ミス・カリフォルニアが、がんを患う母親のために闘うと日本に来て、ピースボートに乗ってベトナムに行きました。そういう人たちも巻き込みながら次の世代がまともな補償を受けるために、という運動がアメリカでは始まっています。アメリカ政府はまだ相手にもしていないかもしれませんが、大きな運動になれば議員が動き出すでしょう。アメリカ政府が動かないにしても、その組織名で運動すれば世間に認められていく、良い方向に進めばと思っています。

**Q. 市民レベルでの動きが出てきたということですね。**

アメリカでは、すぐに声をあげて行動に移す人がいっぱいいます。フロリダ、ノースカロライナ、ハワイでもオスプレイの事故後に配備反対運動が起こりました。ベ



NY国連本部のオブジェ。銃身が結ばれている

トナム帰還兵に対する枯葉剤補償の闘いでも、ワシントンに20万人の兵が集まって法案作りの要求をし、救済されたこともあります。兵隊もデモをするし警官も賃上げデモをしたりする。学べるところと批判すべきところの両面を持ち合わせた国だと思います。

アメリカで面白いのは、個人で闘うひとでもでてくることです。組織化されればもっと良いが、イラク戦争で息子をなくした母親が議会の前で座り込みを始めて、それが全米に広がっていったように、個人から始まることも多い。草の根でいろんなタイプの動きがあります。

アメリカ政府は戦争を軸にしながらことを進めていますが、アメリカ国民すべてがそれにしがたっているわけではない。いろんな考えの人、民族、言語が入り乱れている国です。異民族や異文化を何らかの形で統一しないと国が成り立っていかない要素もあるから、お互いの意見を尊重しながら、封殺するのではなく合意を作ってゆこうという民衆の間の民主主義があります。そういう点にも目を向け、草の根のつながりがうまれればいいと思います。

今日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。

# 実際の米国の姿

薄井雅子

私が米国に引っ越した翌年、9・11同時多発テロ事件が起きました。米国中が「復讐だ」「対テロ戦争だ」と叫びだし、あっという間にアフガニスタンやイラク戦争が始まりました。戦争を経験したこともなく「戦争放棄」を当然と思っていたのに、突然「戦中」に投げつけられてしまった……。そんなとまどいと憤りを書いたのが『戦争熱症候群』(新日本出版社刊)です。

米国は、本土で4時間も時差があるという広大な国土をもちます。日本の大きさはカリフォルニア州ぐらいということですから、日本人の距離感覚は通用しないといっているでしょう。東海岸のニューヨークと西海岸のロ

サンゼルスは、直線距離で8000km近くも離れています。その間に横たわるのは、ロッキー山脈や、砂漠、荒野、草原、トウモロコシ畑、牧場などなど、とてつもない空間です。

東西南北といわず、各州でも相当な違いがあります。ひとつの都市でも、裕福な白人が住む地域と、アフリカ系市民などが多い貧困地域の差にはがく然とします。たとえばシカゴです。ミシガン湖畔にたたく高層ビル街を抜けて、「サウス・サイド」と呼ばれる南部地域に歩入ると、貧困を絵に描いたような光景です。交差点でペットボトルの水を売る人々の群れ、高利貸のけばけばしい看板、ベニヤ板を打ち付けた空き家などが目にとびこできます。

12年住んでも米国はよくわからない、というのが正直なところ。火星に探査機を飛ばすような科学技術をもっているが、7割近くの米国人が「天使や悪魔」が存在すると思っているという世論調査結果(2011

年)もあります。

世界ナンバーワンの先進国と自負しながら、戦争の影をひきずり、圧倒的な社会格差を見せつける米国。この国で何が起きているのかを実際に見ることは、日本の行く末を見通す一助にもなるのではないのでしょうか。

(うすい まさこ)



**●薄井雅子・プロフィール**  
1954年、福島県生まれ。福島大学教育学部卒業。「女性のひろば」などの記者として21年間活躍。現在はミネソタ州セントポール在住。「平和憲法を守る在米日本人の会」呼びかけ人。近著に『戦争熱症候群——傷つくアメリカ社会』(新日本出版社)。

## 連続アメリカ学習会

### <第1回>ベトナム戦争とアメリカの帰還兵について

【日 時】5月22日(水) 18:00~20:00  
【講 師】中村梧郎氏(フォトジャーナリスト)  
【参加費】500円

### <第2回>戦争大国アメリカと軍産複合体について

【日 時】6月13日(木) 18:00~20:00  
【講 師】中村梧郎氏(フォトジャーナリスト)  
【参加費】500円

### 現代アメリカ経済を支える社会構造を知る 死の砂漠越えと現代の奴隷船

【日 時】7月25日(木) 18:00~20:00  
【講 師】清水透氏(慶應義塾大学名誉教授・元日本オーラルヒストリー学会会長)  
1979年以来、メキシコのマヤ系先住民の村チャムーラ村に通いながら、歴史・文化を考える。現在、ニューヨークのスタテン島での「不法」就労先住民の調査を実施。  
【参加費】500円  
【内 容】今アメリカには、1000人を超える規模のマヤ系先住民のコロニーがある。彼らはなぜ、死の危険を冒してまで、アメリカにやってきたのか。NYでの現地取材の報告である。

### ~枯葉剤から原発問題までアメリカの現在を知る~ 中村梧郎さんと行く・アメリカの旅 9日間

9月8日(日)~9月16日(月) ¥382,000  
募集30名(最少催行10名) 添  
成田 ✕ ニューヨーク③ ✕ ワシントンD.C.④ ✕ ① ✕ 成田  
◇ニューヨークに建てられた慰安婦記念碑を見学。関係者と懇談  
◇退役軍人平和会の方と交流。ベトナム戦争と枯葉剤問題を考える  
◇スリーマイル島見学、平和活動家と交流し、原発問題を考える  
◇オプションで本場のミュージカルやディナークルーズにご案内。美術館めぐりもお楽しみください

### 原発に頼らないエネルギー政策へ 「風のがっこう」で学ぶデンマーク 8日間

6月21日(金)~6月28日(金) ¥295,000  
募集20名(最少催行10名) 添  
成田・関西 ✕ コペンハーゲン① ✕ 風のがっこう④ ✕ コペンハーゲン① ✕ ①成田・関西  
◇風力発電などのクリーンエネルギーを活用する様子を見学  
◇介護センターや学校など福祉や教育の現場を訪問  
◇ゴミの収集場所やバイオガスの現場実習も行います

### 梁 澄子(ヤン・チンジャ)さんと行く 韓国 平和と交流の旅 5日間

8月18日(日)~22日(木) ¥140,000  
募集20名(最少催行15名) 添  
東京・大阪・名古屋 ✕ ソウル① ✕ 春川水原① ✕ ソウル② ✕ 東京・大阪・名古屋  
◇日本軍「慰安婦」問題解決全国行動代表・梁澄子さんが同行・解説  
◇歴史研究家と一緒に「戦前のソウル」を訪ねる歴史散策  
◇米軍基地のある平澤へ。「基地村」訪問  
◇水曜集会参加、ハルモニと交流、「戦争と女性博物館」訪問

### 岩ヨリが咲き誇る初夏・ベストシーズン! 合併しなかつた粟島・出雲崎~自治体問題と道州制を考える新潟の旅~3日間

6月1日(土)~6月3日(月) ¥61,000  
①JR羽越本線「村上駅」改札口集合 ✕ 岩船港 ✕ 粟島港 ✕ 粟島浦村資料館 ✕ 粟島浦村村長のお話と地元の方々との交流 ✕ 民宿  
②午前、粟島で自由行動 ✕ 粟島港 ✕ 岩船港 ✕ 出雲崎見学、寺泊旅館泊、地元の方のお話・夕食交流会  
③柏崎刈羽原発周辺見学、地元の方のお話 ✕ JR上越新幹線・長岡駅解散  
◇合併せず自立した地域自治をめざす粟島浦村村長のお話や地方の方々との交流します  
◇柏崎刈羽原発周辺を訪れ、地元の方より実態を伺います。  
◇新潟のお酒や郷土料理のわっぱ煮もお楽しみに!

# 旅のがっこう

“学び+旅”のすすめ  
～旅に学び、学んで旅する～

## ◆デンマーク「風のがっこう」からかかんぐるエネルギーと暮らし

日時：4月20日(土) 14:00～16:00

講師：ケンジ・ステファン・スズキ氏

(S.R.A Denmark『風のがっこう』代表)

参加費：500円

○原発に頼らず、自然エネルギーを普及させたデンマークの取り組みをご紹介いただき、これからの日本のエネルギー政策の課題を考えます。

## ◆『新しい日本の歴史』教科書を検証する

日時：4月26日(金) 18:30～20:00

企画：治安維持法同盟 国際部

講師：菅野享一氏

参加費：無料(テキスト代のみ)

## ◆最新の中国を語る

日時：5月11日(土) 14:00～16:00

企画：日中友好協会新宿支部

講師：小寺松雄氏(元北京駐在員)

参加費：500円

○小寺松雄さんは特派員として、北京に長らく駐在しました。この度の学習会では最新の中国事情を伺い、その後懇談の機会を持つ予定です。

## ◆春、五月の花を描く

日時：5月17日(金) 13:00～16:00

講師：増田勉氏(画文集『花ごよみ 四季おりおり』著者)

参加費：500円(新宿御苑入場料200円が別途必要です)

場所：新宿御苑(新宿門前に集合)

○季節ごとに移ろう花の絵を、自身による解説と関連した俳句とともに紹介する本を出した増田さんは、60歳を過ぎてから絵を描き始めました。今回は、公園に咲く花と一緒に描いていただきます。これからスケッチを始めたい方、スケッチに興味はないがお花の解説を聞きたい方にもお奨めの、春を感じる企画です。スケッチブックと水彩絵の具、筆を持ってご参加ください!

旅に学び、学んで旅する。

富士国際旅行社の提唱する

「学び+旅のすすめ」が更にパワーアップ!

「旅のがっこう」を開校しました!!

入学の条件は一切ありません。

どしどしご参加下さい!

※場所に記載がない場合は、富士国際旅行社会議室で行います。  
※定員は25名、事前予約が必要です。

## ◆都教組の旅～感動とリフレッシュの旅～

ブレ企画 旅行説明会・相談会

日時：5月25日(土) 14:00～17:00

※平日にも設定いたします。ご都合に合わせてご参加下さい。

5月10日(金) 18:30～20:00

6月6日(木) 18:30～20:00

○脱原発に政策転換したドイツを訪れ生活にいける環境の取り組みについて現地の方のお話を伺い具体的な取り組みを学びます。後半はスイスの大自然を満喫。アジアはフィリピンを訪れ、米軍基地跡や原発見学、反対運動をしてきた方と交流します。写真を交えて今年の都教組の旅の魅力をお伝えする企画です。5月25日には原発事故をテーマにしたドイツ映画(「みえない雲」)のご紹介を予定しています。どなたでもぜひご参加ください!

## ◆横井久美子さん～アイルランドのつどい～

日時：6月8日(土) 14:00～16:00

参加費：500円

○ケルト民族の文化、音楽、自然・・・

10年以上続けた旅の経験を基に、横井さんがアイルランドの魅力をご紹介します。



## ◆「従軍慰安婦」問題 過去と今

日時：6月15日(土) 14:00～16:00

講師：梁 澄子(ヤン・チンジャ)氏

参加費：500円

○90年代から日本軍「慰安婦」問題に関わり、在日朝鮮人「慰安婦」被害者の裁判支援、07年にドキュメンタリー映画『オレの心は負けてない』製作。現在、「日本軍『慰安婦』問題解決全国行動」共同代表で、韓国ソウル「戦争と女性の人権博物館」日本建設委員会」代表の梁さんに、「従軍慰安婦」問題の過去と今をお話いただきます。

前号の「いい旅いい仲間」創刊50号を記念しまして、皆さまから「旅での“忘れえぬ出逢い”」のエピソードを募集いたしました。多数のご応募、誠にありがとうございました。当編集委員会で選考を行いました、「最優秀エピソード」を決定いたしましたので下記に発表させていただきます。

他、ご応募していただいた皆様

- ・「忘れえぬ出逢い」藤本 恵美子様
- ・「もう一度 憧れのスイス」松山 日出子様
- ・「旅での“忘れえぬ出逢い”」堀口 玲子様
- ・「ちひろに出逢う安曇野への旅」都築 はづ子様
- ・「地中海の素晴らしい浜と若い宿主」中里 清志様
- ・「出会いは赤いザック」対崎 礼子様
- ・「旅での忘れえぬ出逢い」田中 玲子様
- ・「イタリアで同室だった仙人」石川 弘和様
- ・「忘れえぬ出逢いマッターホルン」おおよ まさる様
- ・「旅での忘れえぬ出逢い フィリピン」小林 みゆき様

※ご応募していただいた皆様には、『劇映画・日本の青空』渡されたバトン～さよなら原発～の制作協力券(ペア2枚)を進呈させていただきます。

※最優秀エピソードを再現したツアー企画につきましては、ただいま企画中です。決定しだい「いい旅いい仲間」で発表、参加者を募集させていただきます。

## ◆映画『バレンタイン〜探』上映会&トーク

主催：特定非営利活動法人ACE(エース)

日時：6月22日(土) 14:00～16:00

参加費：1,000円

○ガーナやインドで児童労働をなくす活動をしている特定非営利活動法人ACE(エース)が設立15周年を記念して製作したドキュメンタリー映画を上映します。チョコレートの原料、カカオ豆を、どこで誰がつくっているのか、あなたは知っていますか? 児童労働とは何か、フェアトレードとは何か、自分たちにできることはなにか。ACEが活動するガーナのカカオ生産地を訪ね、児童労働の問題に出会い、悩み、闘った、日本の女の子たちの奮闘記です。映画の終了後には、ガーナで現地の人たちと活動を行ってきた、ACE事務局長の白木朋子さんによるトークもあります。



## ◆“旅”がつなく、イタリアと日本の食文化

日時：6月29日(土) 14:00～16:00

講師：金丸知弘氏(旅する料理家)

参加費：1,000円(飲み物代)

○イタリアンレストランでイタリアンの基礎を学び、日本全国を旅して日本の食文化のワークショップ、プロモーション事業に携わった経歴をもつ金丸さん。2012年にはイタリア・ピエモンテの料理専門学校課程を修了し、ミシュラン1つ星レストランでの研修を経て考えた、日本とイタリアの“比較食文化論”についてお話しいただきます。後半はワインをかたむけながら楽しい交流も!



## ◆東南アジア平和の共同体づくりへの道 タイ 民主化と今後の役割

日時：7月6日(土) 14:00～16:00

講師：鈴木勝比古氏

(ジャーナリスト元ベトナム・ハノイ駐在員)

参加費：500円

○ASEANの取り組みを中心に、東南アジアの平和の共同体づくりのなかで、タイの民主化と今後の役割について、特派員時代の報道記者の経験にもとづいてお話しいただきます。

## BOOK GUIDE

### 『核の海の証言 —ピキニ事件は終わらない』

山下正寿 著/1,890円(税別)



1954年3月1日に行われたピキニ環礁での水爆実験から、来年で60年が経つ。

以下、本文より抜粋。

一地球規模の放射能汚染をもたらした、のべ1000隻のマグロ漁船が被災し、三月から十二月まで、汚染マグロが獲れ続けた「ピキニ事件」が、いつの間にか「第五福竜丸事件」になり、さらに「第五福竜丸事件」そのものも人々の記憶の中から消えかかっている。

本書の帯には「福島原発被災のこれらを見通し同じ道歩まないために」とある。福島原発事故から2年を経る中で、私たちの記憶の中から被ばくの実態が消えかかっているのではないだろうか。高知県の幡多地域で始まった高校生平和セミナーの活動紹介から、本書は始まる。広島・長崎の被爆者調査に端を発し、ピキニに繋がった調査の対象は、地元高知の漁民、徳島、焼津、沖縄、韓国へと広がっている。実際に足を運び、体験者に話を聞く「学び、調査し、表現する」平和の旅の活動は、フィールドワークの醍醐味を提示してくれる。「ピキニ事件から日本の原子力開発は始まった」と筆者が表すように、この事件と日本とアメリカの核政策は決して切り離して考えることができない。被災の事実に対して隠蔽が図られようとしている今こそ、ピキニ事件から学ぶべき時である。(K.H.)

## 50号記念 特別企画

「旅での“忘れえぬ出逢い”」  
最優秀エピソード発表  
花井 吉宅 様

### 「現地ガイド 金純甫さんのこと」

「朝鮮半島(済州島を含む韓国、それに北朝鮮)の歴史は、古代より900回も異民族の支配や侵略を受けましたが、こちらからそのようなことはありませんでした。」日本軍国主義から解放されたのも束の間、4・3事件やその後の朝鮮戦争では同胞相い戦い無辜の島民らの多大の犠牲を蒙り、1980年代まで、そのことを語ることにタブーでした。そんなことを肉声で語ってくれた。純甫さんの達意の日本語と、歴史認識によって、僕の旅は書物だけでは解らない深さに届いていった。元々僕は、映画『血と骨』で、島民の出稼ぎや猪飼野「在日」のことに興味を持ち、4・3事件のことも加わり、ツアーに参加したのだった。この純甫さんと、同行した増田都子さんという、韓国を愛し、日帝の犯罪を憎む女性がいなかったら、深さは半分だった。(はない よしたく)

# 今こそ！ ヨーロッパに学ぶ

## Peace Green Humanity

Peace” 平和”、Green “自然・環境保護”、Humanity “人権・福祉・教育” は富士国際旅行社が理念とする旅づくりの3つのキーワード。

ヨーロッパには、市民の手によって長い時間をかけてつくりあげられてきたその運動の歴史から学ぶことがたくさんあります。被害だけでなく加害の側からも戦争の反省と記憶を消し去らない歴史認識の徹底した姿勢、進んだ男女平等政策や「ゆりかごから墓場まで」の手厚い社会保障制度を実現している北欧諸国、自治体をあけての取り組みで原発の廃炉へ舵をきった町、アルプスの雄大な自然を守るため、ガソリン車の走行規制をして環境保護に取り組んでいる村……。

いま日本が直面する安全保障や戦後の歴史認識の問題、原発・エネルギーや社会保障の問題…旅をとおして、ヨーロッパの取り組みにふれてみませんか？

### 【フランス】 フランスに平和の種を撒いて30年

美帆シボ

今から30年前、フランスで原爆被害の実相を伝え始めた。そのころ核保有国で原発大国の仏市民は、放射線に対する関心も低かった。1986年、チェルノブイリ原発事故の折は「放射能雲が国境沿いで止まった」と仏政府は偽りの報道を発表した。原爆の爆発力より長期的な害を及ぼす放射線について知らせるため、白血病で亡くなった広島の子と原爆の子の像をテーマに、アニメを創りたいと思ったのはこの年である。



核兵器の問題にしても、同年にパリで行われた国際平和教育者会議では、広島への字も聞かれなかった。成年向けの原爆資料だけでなく、子ども向けの教材が必要だと痛感した。

構想を練り、協力者を探し、資金を集めるのに時間を要し、虫プロに依頼した日本語版『つるにのって』が完成したのは1993年。上映運動を始めてちょうど20年になる。富士国際旅行社や来仏された方々には制作運動から上映運動まで、随分お世話になった。英仏語版をパリで制作し、世界各国にビデオを広めた。2005年にはNHK国際ラジオ放送にラジオ・ドラマの制作をお願いし、24の言語で世界に発信した。

しかし、2011年の春、母国で原発震災が起きた。医師の間でチェルノブイリ病と呼ばれる甲状腺ガンが増加していたフランスでは、ヨウ素と放射線測量器がまたたく間に売り切れた。かつて国に騙された国民は地球の裏での原発事故にも敏感だった。

現在、政権が交代してもフランスの原発と核兵器に関する政策は変わっていない。とはいえ、様々な変化もあらわれている。「仏核実験被害者の会」が創設され、ミッテラン政権時代に国防大臣を



務めたポール・キレスは「核兵器によって敵を制するフランスの核抑止戦略」を批判して核廃絶の運動を開始した。また、脱原発の市民ネットワークは今年も「原発に反対する人間の鎖」を実現した。



『つるにのって』も世界を飛び続けている。昨年はヒンドゥー語に吹き替えられ、インドで上映された。皆で撒いた平和の種は、少しずつ開花している。(みほ しほ)

### 【北欧】 人間中心の暮らしを考える

生まれてから死ぬまで、人間と社会はどう関わっていくのか。税金の使い方・社会制度・まちづくり・保育園や高齢者施設の考え方など、日本との違いが際だって大きい北欧諸国。福祉や教育の考え方の、日本との違いはどこからくるのか、なぜ違うのか。実際の施設を訪問し、「人が人らしく」生きる社会の姿に触れます。

もちろん、むずかしい勉強だけでなく生活を“楽しむ”北欧流の暮らしを旅の中でも実感していただきます！



#### 参加者の声

2006年にフィンランドの学校訪問に参加し、今回再びフィンランド・スウェーデンの旅に参加しました。見学先の学校が前回と違っていたので比較することができて、理解が深まりました。スウェーデンは初めてでしたが、森のムッレ教室の実体験や保育園小学校の子どものムッレ教室見学は大変良かったです。シリラインの船旅も初めて楽しく過ごすことができました。

(2010年 フィンランド・スウェーデン海外教育・文化視察参加)

スズキさんの通訳・説明による見学、デンマークの人々の考え方を含み背景の説明、そして参加者を含めた自由討議など他の旅行では得られない素晴らしい研修旅行でとても良かったと思います。デンマークであった方々や街、農村部の雰囲気もとても暖かく、落ち着いた感じがしてとても良い旅行だったと思います。

(2011年 ケンジ・ステファン・スズキさんに「風のがっこう」で学ぶデンマーク参加)

#### 幸福度No.1デンマークとスウェーデンの福祉をみる

##### 北欧の街づくり 福祉・年金・教育 7日間

10月6日(日)~10月12日(土) ¥348,000

11月3日(日)~11月9日(土) ¥325,000

募集8名(最少催行6名) ㊦

成田 ㊦ コペンハーゲン③ ㊦ マルメ② ㊦ コペンハーゲン① ㊦ 成田

ポイント!

- ◇デンマークとスウェーデンの安心できる福祉の街づくりを考えます。
- ◇福祉のレクチャーから高齢者施設、保育園などを視察。
- ◇高負担の税金の使われ方と暮らし方を考えます。

##### 北欧(スウェーデン・デンマーク)高齢者福祉視察 8日間

8月25日(日)~9月1日(日) ¥438,000

9月29日(日)~10月6日(日) ¥383,000

定員15名(最少催行8名) ㊦

成田 ㊦ ストックホルム③ ㊦ コペンハーゲン③ ㊦ ①成田

ポイント!

- ◇福祉先進国スウェーデンとデンマークでの現在の福祉事情をレクチャー
- ◇建設がすすむ民間の高齢者住宅やグループホームを見学
- ◇在宅介護の現状をデンマークで視察します。

#### 「ひとが資源」の北欧に学ぶ旅

##### スウェーデンとフィンランドの教育 8日間

8月14日(水)~8月21日(水) ¥439,000

募集20名(最少催行15名) ㊦

成田 ㊦ ヨーロッパ都市 ㊦ ストックホルム③ ㊦ 船舶① エスポー② ㊦ ヨーロッパ都市 ㊦ ①成田

ポイント!

- ◇保育園から環境教育が始まるスウェーデンの森の保育園を体験!
- ◇「学力世界一」フィンランドの教育現場を見学
- ◇スウェーデンとフィンランドの間をゆったり船で旅します

##### フィンランドの教育とエネルギー事情 8日間

9月22日(日)~9月29日(日) ¥389,000

募集20名(最少催行10名) ㊦

成田 ㊦ ヘルシンキ ㊦ エスポー② ㊦ ラウマ③ ㊦ ヘルシンキ① ㊦ ①成田

ポイント!

- ◇「学力世界一」のフィンランドの教育現場を見学・現地の方と交流
- ◇映画「100,000年後の安全」で注目を集めた核廃棄物貯蔵庫を見学
- ◇世界遺産のラウマ旧市街見学、森と湖の国の公園をハイキング



# 【ドイツ】 原発ゼロを決めた国へ

福島第一原発の事故後、稼働している原発をすべて廃炉にすることを決定したドイツ。生活の中のエネルギーをどのようにとらえて、人々は暮らしているのでしょうか。

実際に廃炉作業に入っている原発を訪問し、その作業にあたっているエンジニアの方に話を伺います。更に市民生活に関わるゴミ処理とゴミのエネルギー化、クリーンエネルギーの利用現場に触れることにより、ドイツの人々の生活を知ります。

また歴史を重んじる国の古都を訪問。ゲーテの時代から愛される街並みを歩き、古くから大事にされてきた歴史的都市の滞在をお楽しみいただきます。



### ドイツの環境政策を学ぶ

## 原発を廃炉した村とドイツ市民の生活を訪ねる 7日間

8月25日(日)~31日(土) ¥389,000

募集12名(最少催行6名) ①

成田✈ヨーロッパ都市✈ベルリン③ ✈ハイデルベルク② ✈フランクフルト✈ヨーロッパ都市✈①成田

- ポイント!
- ◇首都ベルリンでゴミを処理してエネルギーに変える取り組みを視察
- ◇2005年に稼働をやめた原発を訪問、廃炉作業にあたる技術者の話を聞く
- ◇ゲーテゆかりの地・古都ハイデルベルクの散策を楽しむ

### 参加者の声

日本では原発事故による放射能被害が終わっていないのに、政府は「収束宣言」をだし、大飯原発を再稼働してしまいました。ドイツはどうやって原発ゼロを決めたのだろうかを知りたくてドイツのツアーに参加しました。現地で印象に残ったのは、どこで話を聞いてもエネルギーのことを自分たち自身の問題だととらえていたことです。自分たちの使うエネルギーがどうやってできているのか、未来社会にとってどのエネルギーを使うことが持続可能なのか、そういったことを市民同士でしっかり語り合っていて決めました。日本が見習わなくてはいけないことがたくさんあると実感したドイツ行きでした。(2012年フライブルクツアー参加)

# 【ボスニア・ヘルツェゴビナ】 今なお残る戦争の傷あと

旧ユーゴスラビアは、第2次世界大戦に際してナチス・ドイツの侵略をはねのけた諸民族が協力しあい、1945年に設立した連邦制国家でした。しかし、独立の父ともいべきチトー将軍が1980年に亡くなり、さらに重しとなっていたソ連が1980年代末に弱まると、民族間の対立がしだいに激しさを増し、連邦を構成する各共和国は相次いで独立を宣言し、スロベニア、クロアチア、マケドニア、ボスニア・ヘルツェゴビナが誕生しました。ボスニア・ヘルツェゴビナのセルビア人勢力が民族浄化に手を染め、敵対民族を大量に殺害・迫害していたことが明らかになると、国際世論はこれに強く反発し、ユーゴスラビアを批判する声も日増しに強くなりました。国連の介入も、思うような成果が出ず、北大西洋条約機構(NATO)のセルビア人勢力に対する空爆を敢行。1995年11月に終結しました。今回は、その後のサラエボや民族浄化が行われたスレブレニツァ虐殺記念館を訪れます。



## ボスニア・ヘルツェゴビナとセルビア 8日間

8月20日(火)~8月27日(火) ¥399,000

9月24日(火)~10月1日(火) ¥367,000

募集15名(最少催行10名) ②

成田✈イスタンブール①またはサラエボ③またはサラエボ④✈ベオグラード②✈①✈成田

- ポイント!
- ◇紛争後のサラエボや世界遺産のモスタル旧市街を見学
- ◇スレブレニツァ虐殺記念館で体験者に実情を聞きます。
- ◇セルビア首都ベオグラードで民族舞踊鑑賞

### 参加者の声

かつてオスマントルコの支配下にあった、サラエボの旧市街には、モスクが多くあります。また立ち並ぶビルにも、弾痕が多く残っており、まだ焼け焦げて廃墟となった建物がそのまま放置されていました。サラエボの大通りを歩いていくと、この通りは戦争中、スナイパー通りと呼ばれて恐れられていたそうです。セルビア人のスナイパーが通りを横断する人々を無差別に射撃したそうです。この通りに面した建物にも無数の弾痕が残されていました。当時の人々は銃撃の音に怯えながら生活を続けたのでしょうか。ボスニア・ヘルツェゴビナに平和が持たされたのが1995年、18年前。人間の復興に対するパワーは凄く、廃墟のビルの間には改装した建物が目立ち始めています。旧市街の目抜き通り歩行者天国は、大勢の人々で賑わっていたり、川沿いの公園では子供たちが遊び、高齢者がベンチに憩っていました。人々の表情は非常に穏やかであり、18年前の戦火を生き抜いてきた厳しさは一切残されていませんが、人々は自分達で掴み取った平和を目一杯謳歌しているように見えました。(2009年ツアー参加)



# 【スイス】 心と体を癒してくれる豊かな大自然と、 人の優しさに出会えるスイス・アルプスへ

山は行き先が同じでも、安心と満足は違います。40年のアルプスの山旅の実績をもとに、滞在地、ホテル、歩くコースも豊かな経験で選んでいます。

山の町に2~3連泊を基本とし、ツェルマット・ミューレンでは名峰の見える部屋を手配。朝夕の山の表情を心行くまで眺め、撮影を楽しむことができます。

団体旅行の楽しさを損なわない、ハイキングガイドの目の行き届く、少人数(6名で実施、最多で12名)での山歩きを実施しています。スイスの発達した山岳交通網で、鉄道と路線バスなど最大限公共交通を利用し、環境に優しい鉄道の旅を楽しみます。

(ツアーは8面、別刷3面へ)



### 参加者の声

山嶺の残雪と鮮やかな緑、咲き始め満開を迎えた色とりどりの花々、そして珍しい花に大満足でした。アツモリソウに出会えたのは最高。(6月スイスアルプス花の旅参加)

目の前でマッターホルンを毎日見られたのは最高でした。そして本当にフラワー・ハイキングでしたね。(6月フラワー・ハイキング参加)

スイスの山麓をお花を眺め、写真を撮ったりして楽しく歩く。名峰を眺めて堪能でき、天候にも恵まれ、ハイキングの満足度は150%以上でした。時間もゆったりしていて、写真もゆっくり撮ることが出来ました。(6月フラワー・ハイキング参加)



### 連載14 レストランテ文流の スローフードへのごだわりをのこす イタリア料理



## スペルト小麦のスープ



### 材料(10人分)

- スペルト小麦 200g
- 白いんげん豆 150g
- セージ 1房
- 玉ねぎ 150g
- にんにく 2片
- にんじん 150g
- じゃがいも 150g
- セロリ 150g
- きゃべつ 150g
- ほうれん草 150g
- エキストラバージンオリーブ油
- パルミジャーノチーズ 各適量
- オリーブ油、塩、こしょう

### 作り方

- ①白いんげん豆はセージ、にんにく1片とともに、たっぷりの水に一晩つけておく。豆が戻ったら、水からゆで始める。
- ②スペルト小麦を炊く。小麦の2倍量の水を沸かし、それと同時に手鍋で小麦を少量のオリーブ油で空炒めする。小麦が熱くなったら、沸いた水をゆっくりと手鍋に注ぎ、フタをして弱火で30分炊く。火を止めて5分蒸らす。
- ③玉ねぎとにんにく1片はみじん切りにする。その他の野菜は1cmほどの角切りもしくは幅で切りそろえる。
- ④みじん切りの玉ねぎとにんにくをオリーブ油で炒める。ほうれん草以外の野菜を全て加え、火が通るまで炒める。
- ⑤①のゆで上がった白いんげん豆のセージとにんにくを取り除き、豆と煮汁を④に加える。
- ⑥ほうれん草を加え、塩、こしょうで味を調える。
- ⑦器に盛り、エキストラバージンオリーブ油とパルミジャーノチーズをかける。

Chef Gianluca PARDINI  
Scuola Internazionale di Cucina Italiana di Lucca

# 復興はいまだ ~あれから2年。福島・相馬地方をゆく~

2011年の東日本大震災から2年を迎えようとしている2月末日、福島県を訪れました。

県都福島市から車を走らせ沿岸部を目指します。市内にあるお寺には、太平洋戦争中に米軍が落とされた模擬原子力爆弾の残骸があることを知らされました。田んぼで草取りをしていた青年が、この模擬爆弾の被害に遭い亡くなったそうです。原子力の被害は、その当時から当地を襲っていたのだと知り至りました。車は山を越えます。全村避難の飯館村に差し掛かりました。耕作ができない田畑を埋めるのは、背の高い草です。そして、民家の間を悠々と歩く猿の群れに出くわしました。

南相馬市に来ました。合併によってできた市です。元は小高町、鹿島町、原町市の三つの自治体でした。沿岸部に位置する現在の小高地区を目指します。小高地区で農業を営んでいたSさんのお宅にお邪魔しました。目の前は福島第一原発から20km圏内で、その先へは今も立ち入ることができません。Sさんは2年前の3月11日に家を出て、津波を目撃し逃げました。やっ



津波に耐えた「奇跡の二本松」

と自宅に帰れたのは2012年の4月です。しかし、自宅は津波を受け、地震に壊れ、土地は放射能に覆われていました。今も昼間しか立ち寄ることが許されていません。

「地震と津波だけなら、復興は出来る。だけど、ここはその上放射能だ。三重苦だ…」Sさんは語ります。

相馬の野馬追祭りには、往時は500頭を超える馬が出馬していたそうです。Sさんも馬を飼い、祭りに参加していました。原発事故後、馬を北海道に避難させました。自分たちが九州や埼玉での避難生活を経て福島に帰

れたのち、馬も福島へ帰ってきました。しかし、馬は死んでしまいました。野馬追祭りに、もうSさんの馬は出られません。

南相馬市原町地区へ移動しました。地区は商店街の様子をそのまま止めています。音

がありません。沿岸を北上し、相馬市へ向かいました。津波による甚大な被害を受けた原釜地区の隣、尾浜漁港にある旅館「かんのや」の



原釜地区

ご主人、菅野さんは当日の様子を語ります。「緩やかな濁流が、ゆっくりと水位を増してきました。一階がダメになり、そのあと二階まで上がりましたがどんどん水位が増し、三階まで上がって外をみたら、窓の側を漁船が通っていきました。」必死の復旧の末、旅館は2011年の8月から営業を再開しました。当初は工事関係者の方ばかりが宿泊していましたが、現在は観光客が戻ってきています。

3月11日、震災から2年の月日が過ぎました。政府は原発事故の収束を宣言しましたが、今なお、福島第一原発からの放射能被害は続いています。これからの福島と未来の日本を考えるためにも、現状をしっかりと見て、その地で暮らす人たちの声を聞くことが必要だと感じました。(K.H.)

## ブラジル通信 (最終回)

こんにちは。JICA日系社会ボランティアとしてブラジルで活動中の二井はるみです。早いもので、もうすぐ1年9か月の任期が終わります。あっという間でした。日本との違いに驚かされたり、笑ったりと、楽しく充実した毎日でした。

任地であるミラソウ学園で、いろいろな活動はしましたが、中でも印象に残っているのは、日本とブラジルの子ども同士の交流です。私は現職教員特別派遣制度を利用してこのボランティアに参加していますので、日本との交流はぜひ取り組んでみたいと思っていたことの一つでした。今回は、その交流のエピソードを最後の記事として紹介したいと思います。

ブラジルで活動を始めて半年ほどたった2011年12月、日本の小学校からメールで質問が届きました。

「ブラジルは今何時ですか？ 今は夏って本当ですか？」「ぼくはサッカー命です。サッカーのことについて知りたいです。」「日本食はブラジルで食べられるんですか？ 日本を離れてどう思いますか？」

「現職教員海外活動マップ」のサイトを見て、ブラジルの場所や私の活動内容を調べたのだそうです。静岡県



には、青年海外協力隊のOB・OGで作るメーリングリストなどのネットワークがあります。その中から現職の先生との繋がりが生まれ、今回のメール交流に至りました。

12月、ブラジルは卒業式が終わり、ちょうど夏休みの季節でした。子どもは学校にいませんでしたが、私とのやりとりの中でブラジルという国や国際協力についてとても興味をもってくれたようです。夏休みの終わった2月、さっそく中学生の子どもたちに日本からメールが来たことを知らせました。

「日本は今冬なの？ 雪も降るのかな。」「日本の子どももサッカー好きなんだ。どのチームが好きかな。」「クラブワールドカップでサントスが日本に行ってたんだよね。ネイマール見たかなあ。」「やきそばとか寿司とか、私も日本食大好き。日本にもブラジル料理はあるのかな。」「日本からのメールに子どもたちは興味津々。さっそく返事や質問をメールで返信しました。遠い「日本」という国が、この交流を通してぐっと身近になりました。

翌年度、今度は在籍校の三島市立錦田小学校の6年生からDVDレターと手作りの新聞が届きました。総合的な学習の時間の中で作成したという学校や地域を紹介する



作品でした。日本語がわかる子どもは少ないので、内容すべてを理解するのは難しかったようですが、靴を履き替えて学校に入る様子や、委員会や係といったこちらの学校にはないシステムなどを見て、驚く子どもも多かったです。

DVDを見終わった後、「ブラジルやミラソウの紹介新聞も作って日本に届けたい」という声が挙がり、中学生を中心に新聞作りが始まりました。ひらがな、カタカナを書くのがやっと……という子どもたちが日本語で手紙を書くのは至難の業。それでも、学校・地域の紹介新聞と、一人ひとりに宛てた手紙を一生懸命書き上げました。

「読んでくれるかなあ……」と心配しながらも、顔はとってもうれしそうです。

錦田小学校の6年生に作品と手紙を届けると、お返しに日本からのメッセージを受け取りました。ローマ字で書いたり、ポルトガル語を調べて書いたりしてくれた子どももいて、とても驚き、喜んでいました。

11月の文化祭では、日本の環境問題への取り組みについて調べることになりました。在籍校の錦田小学校はエコスクールですので、学校内の様子を写真に撮って送ってもらい、それをもとに学校内の仕組みや施設の様子などについて子どもたちに説明をしました。するとその後、中学生の子どもたちから「先生、日本の子たちにメールで質問してもいいかな?」と相談がありました。そこで、再びメールで質問を送ることにしました。

缶やペットボトル、再生紙などリサイクルについての考え方や、エコバックや節約など子どもの頃からいろいろ気をつけていることに驚いていました。「ブラジルもこれから環境について考えていかなければいけないと思う」と感想に書いている子どももいました。

小さなやりとりかもしれませんが、子どもたちが世界に目をむけるきっかけとなればうれしいです。ここで私は1年9か月の任期を終えますが、帰国後も、世界の国々で、お互いの感情が行き来するような、豊かな交流を生む手助けができればとても幸せです。(ふたい はるみ)

### ~旅に学び、学んで旅する~ 第三弾 福島被災地復興応援ツアー 2日間

7月6日(土)~7月7日(日) ¥28,000

募集35名(最少催行20名) 添

- ①福島駅現地集合 瑞龍寺(戦争中に米軍により落とされた模擬原爆の破片見学) 川俣町 飯館村(全村避難の村を通過) 南相馬(小高地区訪問) 相馬市泊
- ②相馬市見学(中村神社、元学校で被災写真と遺物の展示見学) 福島駅現地解散

### 大間原発問題を考える 三沢基地と下北半島をめぐる 3日間

6月23日(日)~6月25日(火) ¥79,000

20名(最少催行15名) 添

- ①羽田空港 三沢 三沢基地見学(三沢基地ゲート・アーケード街・航空科学館) 古牧温泉泊
- ②古牧温泉 大間町(あさこはうす訪問) 下風呂温泉泊
- ③ 六ヶ所村見学(原燃PRセンター・サイクル施設外観) 三沢空港 各地空港
- ◇大間原発の建設反対「あさこはうす」へ激励訪問!と交流予定
- ◇米空軍基地である三沢基地を現地の方の案内で巡り、基地問題を考える
- ◇六ヶ所村を訪問。現地の方より現状のお話を聞く

### 原発に頼らないエネルギー 高知県梶原町と四万十川をめぐる旅 4日間

7月22日(月)~7月25日(木) ¥99,000

9月 9日(月)~9月12日(木) ¥99,000

募集30名(最少催行15名) 添

- ①各地空港 高知空港 梶原町内見学・梶原町泊
- ②梶原町クリーンエネルギー施設見学 四万十楽舎泊
- ③四万十川周辺見学(沈下橋・屋形船・四万十学遊館など) 四万十いやしの里泊
- ④黒潮町見学(カツオのタタキ作り体験) 高知空港 各地空港
- ◇クリーンエネルギーの町、梶原を訪ね、風力・小水力バイオマス発電を見学
- ◇四万十川にある廃校を利用した施設、「四万十楽舎」に宿泊し、地元の方と交流
- ◇黒潮町でカツオのタタキ作りを体験。漁師のご家族から、現在の漁業のお話を聞きます



### オスプレイ飛行訓練と原発問題をかんがえる 祝島・上関・岩国基地をめぐる 3日間

6月 2日(日)~6月 4日(火) ¥87,000

7月28日(日)~7月30日(火) ¥89,000

募集20名(最少催行15名)

- ①羽田空港 岩国 岩国基地見学・錦帯橋 岩国泊
- ②上関原発建設予定地見学・地元の方のお話 祝島島民の方々と交流 祝島泊
- ③祝島見学 柳井 岩国空港 羽田空港
- ◇「殴り込み部隊」の異名をもつ海兵隊の出撃拠点 岩国基地を見学
- ◇建設計画が持ち上がって30年、上関原発建設予定地を見学
- ◇「ミツバチの羽音と地球の回転」の舞台・祝島を訪問、交流
- ◇地元ならではの食事・文化も楽しみ



待望の資料館が、3月1日那覇市若狭にオープンいたしました!

# 不屈館 ~瀬長亀次郎と民衆資料~

## 不屈館とは

沖縄の祖国復帰と平和な社会の実現を目指して命がけで闘った、瀬長亀次郎(元衆議院議員)が残した膨大な資料を中心に、沖縄の民衆の戦いを後世に伝えようと設立された資料館です。今後、県民の皆様からの資料も収集し、沖縄の戦後史、特に米軍統治下の民衆の歩みが学べる場所となるよう充実させ、県内外の学校の平和学習の場所としても活用して頂きたいと考えています。

不屈館は、民衆の支えによる民衆のための資料館を目指し、会員制で維持、管理されます。多くの皆様のご賛同とご協力をお願い致します。

2013年1月 不屈館運営委員会



- <開館時間>午前10:00~午後5:00(入館は午後4:30まで)
- <休館日>毎週火曜日・年末年始(12/28~1/3)
- <入館料>大人500円/大・高校生300円/中学生以下無料  
身障者無料(介助者1名無料)  
65歳以上400円/団体(10名以上)400円
- <場所>〒900-0031 那覇市若狭2丁目21-5  
TEL:098-943-8374 FAX:098-943-8375  
HP: http://senaga-kamejiro.com Mail: info@senaga-kamejiro.com

### 募金と資料提供、友の会入会のお願い

資料館の維持、管理が末長く続きますよう皆様のご協力をお願いいたしております。詳細につきましてはURL (<http://senaga-kamejiro.com/help.html>) をご覧いただけますようお願いいたします。

## Event information

イベント情報



ベトナム枯葉剤被害者支援の「ベトナムダイオキシネーニッポン」は、枯葉剤散布50周年の2011年8月10日に始まりました。今年は日越国交樹立40周年の節目の年。現在もベトナムでは枯葉剤の影響による胎児が生まれ、多くの被害者が苦しんでいます。枯葉剤問題を考え、ベトナムと友好関係を深めるイベントに是非ご参加ください。

## 第3回 ベトナムダイオキシネーニッポン2013

- <と き> 2013年8月10日(土) 12:00~16:30
- <と ころ> 武蔵野公会堂(吉祥寺駅下車徒歩2分)
- <プログラム>
  - ①映画「花はどこへいった」上映(監督:坂田雅子)
  - ②シンポジウム「ベトナム枯葉剤被害と国際的な支援活動」  
パネリスト:坂田雅子氏、中村梧郎氏、ベトナム代表
  - ③ジョイントコンサート・松島よしおとハイチュウ、グエン・タック・など
- <参加費> 一般2,000円/学生・ベトナム人1,000円 ※先着350名
- <主 催> 第3回ベトナムダイオキシネーニッポン実行委員会  
日本ベトナム友好協会 後援:ベトナム大使館
- <問合せ> 阿原成光(実行委員会事務局長、ベトナム友好村日本委員会代表)  
携帯:090-1607-3749 FAX:042-421-9157  
Mail: asige@kc5.so-net.ne.jp

## 石川・宮森小学校ジェット機墜落事故を語り継ぐ 「NPO法人いしかわ・宮森630会」から

# 資料証言集発行への支援のお願い

1959年6月30日、嘉手納基地所属のF100ジェット戦闘機が、石川市(現うるま市石川松島区)に墜落し、その衝撃で撥ね上がり、付近の家々を引きずるようにしながら北西の方向約150m先、2時間目が終了後のミルク給食中の宮森小学校に激突、炎上しました。この事故により、宮森小学校の生徒が11名(後に後遺症で1名が22歳で死亡)、地域住民が6名死亡しました。重軽傷者も220名に達し、住宅27戸、公民館1棟、校舎3教室を全焼。住宅8戸、校舎2教室を半焼させる大惨事となりました。

630会は2009年、事故から50周年に当たり当時の教職員、児童が中心になって事故を風化させず後世に語り継ぐために活動を開始しました。2012年には映画『ひまわり』も公開され、人々に広く宮森小の惨事について知っていただく機会となりました。

沖縄では、オスプレイの問題、普天間飛行場の問題、

4.28の屈辱の日など問題は山積みです。沖縄県民は戦後68年間基地問題で翻弄され続けてきました。どうしても全国の皆さんの助けが必要です。

会では、この度資料証言集を発行することになりました。A4版で200ページを予定しています。遺族や関係者の「終わらない悲しみ」を、証言集を発行し後の世に残し二度と戦争が起こらない世界を目指し頑張っております。是非、発行の支援をお願いいたします。

郵便口座: 01720-7-141913  
加入者名: 特定非営利活動法人 石川・宮森630会  
※通信欄に「資料・証言集発行支援金」とお書きください

◎問い合わせ先  
メールアドレス: miyamori630kai@ac.auone-net.jp  
ウェブサイト: <http://www.miyamori630.net/>

### 台湾遭害事件から自衛隊問題まで考える 宮古島 平和・交流の旅 4日間

7月28日(日)~7月31日(水) ¥148,000  
8月25日(日)~8月28日(水) ¥148,000  
募集30名(最少催行10名) 添

- ①羽田 那覇 宮古島 宮古島島内見学(野原岳レーダー自衛隊基地、憲法九条の碑など) 宮古島島内泊
- ②宮古島 伊良部・下地島見学 宮古島見学、宮古島泊
- ③宮古島見学(西平安名崎、東平安名崎、池間島)
- ④宮古島南静園見学、自由行動 那覇 羽田
- ◇沖縄唯一の美しさといわれる宮古島の海。ゆったり3連泊!
- ◇日本軍「慰安婦」問題と沖縄戦について地元の方のお話
- ◇宮古島の戦争遺跡と自衛隊基地を見学

### 自然豊かな八重山諸島をめぐる、地元の方との交流 日本最西端の与那国島・石垣島・竹富島をめぐる旅 4日間

6月16日(日)~6月19日(水) ¥141,000  
7月28日(日)~7月31日(水) ¥148,000  
8月25日(日)~8月28日(水) ¥148,000  
募集25名(最少催行10名) 添

- ①羽田空港 那覇空港 石垣島見学、地元の方と交流
- ②石垣島 与那国島見学、地元の方と交流
- ③与那国島 石垣島 竹富島見学 石垣島
- ④石垣島見学 那覇空港 羽田空港
- ◇自衛隊配備で揺れる日本最西端の与那国島を訪れ地元のお話を聞く
- ◇石垣島では、「八重山戦争マリアを語り継ぐ会」の方からご案内
- ◇郷土料理もお楽しみに。竹富島では水牛車に揺られながらゆったり

### 瀬長亀次郎氏次女・内村千尋さんご案内で不屈館を見学 沖縄本島と伊江島 4日間

6月12日(水)~6月15日(土) ¥92,000  
募集30名(最少催行10名) 添

- ①羽田 那覇 不屈館(瀬長亀次郎記念館)、南部戦跡見学、那覇市内泊
- ②中部基地見学(辺野古漁港、普天間基地)、本部町内泊
- ③伊江島島内見学 美ら海水族館、那覇市内泊
- ④自由行動(オプションツアー) 那覇 羽田
- ◇6月は慰霊の月。沖縄戦の実相に迫ります
- ◇4日目は中村梧郎さん写真展見学も可能
- ◇南部戦跡と中部基地をじっくり見学

### 沖縄の歴史・文化・自然にゆったり触れる 琉球探訪 沖縄本島4日間

7月28日(日)~7月31日(水) ¥99,000  
8月25日(日)~8月28日(水) ¥99,000  
募集30名(最少催行10名) 添

- ①羽田 那覇 不屈館(瀬長亀次郎記念館)、沖縄県立博物館、首里城、那覇市内泊
- ②南部戦跡見学、中部基地見学、名護市内泊
- ③大宜味村、美ら海水族館、宮森小学校(630会と交流)、那覇市内泊
- ④自由行動(オプションツアー) 那覇 羽田
- ◇映画「ひまわり」宮森小学校ジェット機墜落現場を見学
- ◇座り込み3000日を越えた辺野古、東村高江区を訪問
- ◇首里周辺をゆっくり見学

**富士国際旅行社**  
**旅行業務スタッフ**

募集

正社員募集

平和・環境・福祉などの視察と交流の旅、  
自然・芸術・歴史にふれる感動の旅など、  
ほんものの旅づくりにチャレンジしてみませんか?

職種: 海外国内旅行業務全般

- ①2014年3月卒業見込の方
- ②2014年4月から働ける方(25歳までの既卒者・転職希望者)
- ◆第一次応募締切: ①②2013年5月15日
- ◆履歴書・自己紹介・志望動機(自筆800字位)をお送り下さい。
- ◆会社訪問: 随時対応いたします。お気軽にお問合せください。

パート・アルバイト募集

旅行業務(事務・PC入力・テリハリーなど)  
どなたでもできる簡単なお仕事です。未経験者可。4月頃から働ける方。

- ◎学生(二部学生歓迎) ◎30歳位までの方 ◎週3日以上勤務できる方
- ◎9:30~18:00で実働5時間以上 ◎時給: 870円~(経験による)
- ◎交通費支給(規程による)
- ◆まずはお電話でお問い合わせ下さい。

最寄駅: JR新宿駅南口・中央東口より徒歩8分  
東京メトロ丸の内線・都営新宿線・副都心線 新宿三丁目駅より徒歩3分

担当: 総務課 柳下(やぎした) 電話: 03-3357-3377  
e-mail: [yagishita@fits-tyo.com](mailto:yagishita@fits-tyo.com)

## 編集後記

東日本大震災から二年を経ようとする福島県を訪れた4日後、ニュージーランド(以下NZ)へ向かいました。冬から春へ移ろう日本とは逆に、南半球に位置する当地は夏から秋へと向かっていました。本誌でもたびたび触れてきましたが、NZは徹底した非核政策の下、原子力発電所を保持していません。今回は地熱発電所を訪れ、エコハウスで暮らす方のお宅へも訪問させていただきました。マオリ族が訪れるまでは、人間が暮らしていなかったNZ。英国はじめヨーロッパからの移民たちも、道具だけを持ってやって来て、住居や農場を自分たちの手で作りました。訪問したご夫婦のお宅も、専門家の力を借りつつもほとんどを自分たちの手で作ったそうです。自分たちが住む場所を、放射性物質に奪われてしまった日本と、簡単で便利ではないかも知れませんが、自分たちで生活をつくって暮らしているNZ。改めて、私たちがこれからどんな暮らしを求め作っていくのか、考えさせられた経験でした。(K.H.)

市原芳夫氏 追悼企画

ローヌ渓谷とサース谷の氷河展望ハイキング 10日間

8月13日(火)~22日(木) ¥442,000

募集12名(最少催行6名)

成田・関西 チューリッヒ アンデルマット① ペットマー  
アルプ② サースフェー② ミューレン③ チューリッヒ②  
①成田・関西

◇富士国際旅行社社長、故・市原芳夫氏が愛したスイスの山と氷河の眺望を楽しむ

◇静かな山の町ミューレンで3連泊、最終日に「市原さんを偲ぶ交流会」を開催

初夏の名花とアルプの春を訪ねる

スイス・アルプス6月花の旅 9日間

6月13日(木)~21日(金) ¥378,000

6月20日(木)~28日(金) ¥381,000

募集12名(最少催行6名)

成田・関西 チューリッヒ カンダーシュテーク② レッチェン  
タール② ミューレン③ チューリッヒ②① 成田・  
関西

◇いちめんの花の広がるお花畑を7箇所も訪ねる特別コース

◇秘境の谷レッチェンタールとカンダーシュテーク周辺の花畑へ

初夏のお花畑を歩く6月コース  
高所の展望コースを楽しむ7、8月コース

フラワー・ハイキング 9日間

6月コース

6月18日(火)~6月26日(水) ¥382,000

6月25日(火)~7月3日(水) ¥385,000

7月、8月コース

7月2日(火)~7月10日(水) ¥442,000

7月9日(火)~7月17日(水) ¥442,000

7月16日(火)~7月24日(水) ¥447,000

7月23日(火)~7月31日(水) ¥447,000

7月30日(火)~8月7日(水) ¥447,000

8月6日(火)~8月14日(水) ¥465,000

8月13日(火)~8月21日(水) ¥447,000

募集12名(最少催行6名)

成田・関西 チューリッヒ ベルン① ツェルマット③  
ミューレン③ チューリッヒ②① 成田・関西

◇ご家族でも初心者でも1~3時間のハイキングを楽しめます

◇6月は2000m以下の牧草地の花が満開

◇7、8月は高所の展望コース、高嶺の花の探索コースへ

◇マッターホルンとアイガー展望の2つのホテルに各3連泊

スイス旅便り

~故・市原芳夫氏追悼に寄せて~

スイス・アルプスの花と名峰を訪ねて ふたたび

鬼原芳枝

気の合う11名の女性でスイスの花を見に行きました。放牧の牛たちにお花を食べられてしまう前の6月、可憐な高山植物の写真を撮りまくり、心が癒されました。添乗員さんが教えてくれた花の名前は忘れてしまったけれど、花の美しさは一生忘れないでしょう。また、マッターホルンなどのアルプスの荘厳な山々を前にすると、言葉もなく、ただ人間の小ささを感じさせられました。山を身近にみられるホテルもきれいで、スタッフも気持ちがよく、食事ではワインとチーズを堪能しました。

旅の喜びは、素晴らしい景色、乗り物、ホテル、食事等いろいろあります。そして、新たな発見もあります。色々な体験もできます。それだけでなく、その旅を創った人の想いも感じられた時、ほんとうの旅をしたという気持ちになるのではないのでしょうか。

私たちは、故市原社長がスイスの山旅を熱く語るのを見て、心を動かされ参加したメンバーです。

どんなに素晴らしい景色を見られるか、登山電車やケーブルカーがど

なに進歩しているか、チーズがどんなに美味しいか、安全にどんなに配慮しているか。自分が創りあげたこのコースを、ぜひ歩いて欲しいという気持ちが伝わってくる話でした。

このスイス山行の最後の宿泊地ミューレンは、天候に恵まれず山を見ることが出来ませんでした。「もう1回スイスにおいでよ、という事だね」と参加者で慰め合いました。その時は、また市原社長に案内してもらえると期待していたのに、とても残念です。でも、もう一度スイスへ行きます。ほんとうの旅をしてきます。

(きはら よしえ 2010年フラワー・ハイキング参加)



「ヨーロッパ・アルプス」  
2013年度 総合パンフレット



完成しました!

各ツアーの詳細は  
総合パンフレットに  
掲載しておりますので、  
ぜひご請求ください。

★アルプス担当

熊崎、鈴木

alps@fits-tyo.com

2013年秋~2014年春 シーズン

保存版

海外トレッキング 総合パンフレット

無料贈呈



ネパールとブータン 魅力のコース満載

自然を相手にアクティブな観光ツアーからヒマラヤを中心にして初心者・健脚・エキスパート向けのトレッキングから登頂プランまで満載しています。ブータンはトレッキングに加えてブータンの文化を探索するカルチャーツアー(2時間程度のハイキングを含む)が人気です。海外トレッキングは夢ではありません。ちょっと不安、でも行ってみたい。ご期待のプランが必ず見つかります。

富士国際のネパール室は「ゆっくり、のんびり、50才からのトレッキングを応援します」をコンセプトに、皆様のご参加を心からお待ちしております。

●パンフ請求(予約) 総合パンフレットは6月頃に発行します。

ご希望の方は、氏名・年令・〒・住所・電話番号を添えて当社までご請求下さい。

担当: 中野 nakano@fits-tyo.com、鈴木 suzuki@fits-tyo.com

静かな谷をめぐり、展望台からの眺望とトレッキング  
アルプス3つの山域の展望台めぐり 11日間

7月9日(火)~7月19日(金) ¥437,000

7月30日(火)~8月9日(金) ¥467,000

成田・関西 ジュネーブ シャモニ谷③  
③ アンヴィエ谷③ レッチェンタール  
③ チューリッヒ②① 成田・関西



3ヶ所の山上の宿に各2連泊、朝夕の名峰を楽しむ  
山上ホテル泊りハイキング 10日間

7月17日(水)~7月26日(金) ¥434,000

8月13日(火)~8月22日(木) ¥424,000

成田・関西 チューリッヒ カンダーシュテーク① ツェルマ  
ット周辺泊② ベルンアルプ② グリンデルワルト周辺②  
ルツェルン① チューリッヒ②① 成田・関西

◇1~3時間の花と展望を楽しむハイキングを7日間  
◇名峰を間近に望む快適な山上の宿(2人部屋)に6泊



アイガー、マッターホルン、ヴァイスホルン展望の山小屋へ  
ヒュッテ・山小屋泊りトレッキング 10日間

7月23日(火)~8月1日(木) ¥443,000

8月6日(火)~8月15日(木) ¥458,000

成田・関西 チューリッヒ ベルン① クライネシャイテック  
① グリンデルワルト周辺の山小屋② ツェルマット①  
ツェルマット西上のヒュッテ② ツェルマット① チューリ  
ッヒ②① 成田・関西

◇2つの山域をめぐり、5つの山小屋(3つは大部屋、2つは個室)に泊る  
◇2~5時間の高所の山歩きを6日間楽しむ

